

2024年度 ルール・レフ担より II (2024. 4. 20 コーチ会議) 向井近(ルレ担)

1. JRFU ルール通達・レフリングガイドライン (2023～おさらいとルーリング 2024-1、ゴーグルについて)

2024.4.11	https://www.rugby-japan.jp/news/52528	「ワールドラグビー承認ラグビーゴーグル」の国内販売に関する情報提供
2024. 2.19	https://www.rugby-japan.jp/news/52441	「スクラムエンゲージメント・プレーキフット」
2023.8.25	https://www.rugby-japan.jp/news/52150	「競技規則 9・13 条 危険なプレー」 競技規則の試験的変更
2023.8.8	https://www.jrfucoach.com/	JRFU 2023 レフリングの ガイドライン コーチネットからPPTあり
2023.6.9	https://www.rugby-japan.jp/news/51983	タックルの高さに関する試験的 ガイドライン
2023.5.5	https://www.rugby-japan.jp/news/51909	U12、U15 の危険なプレー・不行跡の 改正

1) スクラム開始時のプレーキフット

安全のため、HO の足を前に出してから組むことになります。ミニラグでは前に落ちることはありませんが、次のようにご指導ください。

- ① レフリーがマークする②マークに HO が右足を出す③双方右足の小指側を合わす④このポジションで頭がオフセットされる



2) ゴーグル

Raleri 社製のゴーグルが WR で公認されていて、サイズが増えました。日ラグ協発通達 19-034 では、以下の通りです。主にミニラグビーでの利用が想定されますが、大会運営責任者、レフリーの皆様におかれましては、適切な運用をお願いいたします。

2. 2024 年の競技規則改正(未発表 2024.4.10 サンスポより)

<https://www.sanspo.com/article/20240410-W4KRY43VPRLLDDMHVHZ5ZOBQM24/>

- 1) オープンプレーのキックでオフサイドプレーヤーが相手のプレー(パス、5mラン、キック)で解消されることはなくなります。従来の 10m オフサイドと同じになります。解消は①自分がキッカーまで下がる②キッカーに追い越される③オンサイドプレーヤーに追い越されることが必須になります。
- 2) ラックでクロコダイル禁止
- 3) スクラムで FK の場合、もう一度スクラム要求できない (主な FK になるとき＝フットアップ、ノットストレート、アーリーエンゲージ) 蹴らないといけませんが、ポイント(たぶん No8 のところ)、蹴る人についてはまだ情報ありません。ダイレクトタッチになったら蹴った位置のラインアウト敵ホールになります。
- 4) キックオフ、ドロップアウトからフェアキャッチできる
- 5) モールドライブでワンストップしたら継続できず、すぐホールを出さないといけない
- 上記1)から3)は 5 月 9 日から適用とされています。1)はミニラグでも起こりえるのでキックのオフサイドについてしっかり落とし込んでおいてください。2)はあまり技術として知らないと思いますのでやりたがる選手はいないと思いますが、現在は危険なプレーとされました。

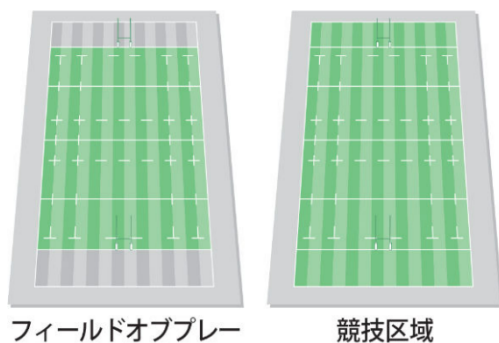
3. 神奈川ローカルへの対応

神奈川県協会はレフ養成や独自の試験的ルールの研究を行っています。協会ルールとの相違点もありますので、事前に理解しておいてください。レフリー、指導者、選手みなさんもです。イーブンボールのキック、前進していない受け止めのハイタックルポジション、味方に手をついて支える自立していないキングポジション等については当日のレフ MTG で確認をしてください。

項目	神奈川ローカル	協会／東京都ローカル
試合再開のキック	得点をとられた側から	得点した側から
PK、FK リスタート	プレス、タップしてボールを蹴り進めてから(はっきり動かす)	協会)プレスして明確に触れること レフリングガイドライン)蹴り進めること、触れることではない
高学年スクラム解消	ボールに触れたとき(足でコントロールしているうちはまだ。2022 ファイナルカップ)	ボールに触れたとき(手でも足でも)
自陣 GL すぐ前の PK	5m 内でも反則の地点	フィールドオブプレー内で GL5m 内でない地点
ジャッカル姿勢	去年のギオン)脚が揃っている→NG またいでも頭が下がっている→NG 24.3 の常総祭)同上	脚が揃っても頭さがらなければ OK、 一瞬でも下がったら NG、またいだら 頭が下がり続けなければ OK

【以下参考】

20.1 ペナルティ、または、フリーキックのマークは、必ずフィールドオブプレーの中とし、また、ゴールラインから 5 メートル以上近くにあってはならず、



2023.1 WR 競技規則適用のガイドライン

地面に手を付くプレーヤー

タックル、ラック、および、モールにおいて地面に手を付いたプレーヤーは、明らかに自分のバランスや安定を取るために地面を利用したかどうかではあるが、制裁の対象となる。

競技規則の定義と関連条項

立っていない(Off feet): 体の足以外のいずれかの部分が地面、または、地面の上にいるプレーヤーに支えられている状態のプレーヤーのことをいう。

立っている(On feet): 体の足以外のいずれの部分も、地面、または、地面の上にいるプレーヤーに支えられていない状態のプレーヤーのことをいう。

15.12 (ラック) プレーヤーはラックの間ずっと、立ったままのように努めなければならない。

16.9 (モール) モールの中にいるその他のプレーヤーは全員、立ったままのように努めなければならない。